

1-④-1 ボランティア活動の確認書モデル

ボランティア活動の確認書

- ●さんのボランティア活動について、以下のように確認します。

- 1 活動内容
 - 2 活動日時
 - 3 活動期間 年 月 日 ～ 年 月 日
 - 4 ボランティアコーディネーター 生活相談員(生活支援員)
 - 5 活動をするにあたって
- 1)1日の活動終了時に、ボランティアは活動記録を記入します。ボランティアコーディネーターが毎回、目を通します。
 - 2)施設までの交通費・サークル活動での交通費実費のうち、1日あたり500円を超える額を支給します。毎月月末までに、当月の交通費を所定の用紙に記入して提出してください。
 - 3)活動日時は守ってください。やむをえず欠席・遅刻・早退する場合は、ただちに担当職員に連絡してください。
 - 4)その他、施設の決まりにはしたがってください。また、活動上の問題や活動にかかる費用などでわからないことがあれば、担当職員にその都度相談してください。

令和 年 月 日

施設長 印

ボランティアの自署 印

1-④-2 ボランティア誓約書モデル

誓約書

現住所

氏名

生年月日

このたび貴法人施設・事業所のボランティアとして活動の上は、下記の事項を誓約し、
厳守いたします。

記

一 次に掲げる情報(以下、「秘密情報」という)について、貴法人施設・事業所の許可なく使用、
開示もしくは漏洩しません。

- ① ボランティア活動上知り得た利用者の情報や秘密事項(「指定居宅サービス等の事業の
人員、設備及び運営に関する基準」第33条)
- ② 貴法人が秘密保持すべき対象として指定した情報
- ③ 貴法人の人事上、財務上等に関する情報

二 貴法人施設・事業所のボランティア活動をやめた後も、秘密情報を使用、他の開示もしくは
漏洩しません。

三 上記に違反して、貴法人の秘密情報を使用、他の開示もしくは漏洩した場合、私には、
これにより貴法人が被った一切の損害を賠償する義務があることを認めます。

令和 年 月 日

社会福祉法人 ● ● 会 理事長 ● ● ● ● 殿

5-㉔-1 中小介護事業者協同組合設立趣意モデル

中小介護事業者協同組合設立趣意(モデル)

設立趣意

かつてない急速な高齢化の進展により、介護の長期化、重度化など介護を要する高齢者が増加する一方で、介護者の高齢化、女性の社会進出等を背景に、家族介護を取り巻く様々な社会問題が生じている。

特に団塊の世代が後期高齢者になり、医療介護ニーズが著しく増加する2025年へ向けたサービス提供体制づくりとして「地域の中で医療・介護・住まい・予防・生活支援を一体的に提供する」《地域包括ケアシステム》の構築が進められている。

介護事業を取り巻く現状は、異分野からの市場参入による競争の熾烈化、そして、制度の本旨である「与えられる介護から利用者が自分で選択する介護」として、事業者の提供するサービス内容・質への関心はますます高まりをみせている。

こうした中、我々には、増大する介護需要に的確に対応し、介護保険制度に則ったサービスのみならず、制度の枠を超えた機動的、弾力的なサービスを民間ならではの迅速、かつ多様な形態で提供していくことが、これまで以上に強く求められている。しかし、介護事業者の大半を占める中小事業者では、このような事業を展開していくための経営資源が不足している。また、最重要の経営資源であり、今後の介護事業の成否を分ける大きな要因となる「人材の確保・育成」についても、採用予算、研修予算、キャリアパスに基づいた賃金・待遇・ポスト・福利厚生などの職員への処遇面でも、大規模に劣るため苦戦を余儀なくされる。

増大する介護需要に対応し、介護が必要になっても安心して暮らし続けることが出来る地域づくりを実現していく、また生産性の低さが指摘される介護業界が成長性を確保し、雇用の創出等により地域経済のけん引役としての役割を担える「真の成長産業」へと飛躍するためには、大手事業者や保健医療福祉複合体といった大規模法人のみが、地域独占でサービス提供を行うのではなく、中小介護事業者も含めた健全な競争や相互機能補完による共存共栄を図ることが不可欠である。

そこで、介護福祉事業を行う中小規模の民間事業者が、組合員の相互扶助の精神に基づき、互いに協力・助け合い、必要な共同事業や相互の交流や情報交換をもって、経営基盤の強化、サービスの質の向上に努め、更なる地域福祉の向上に資することを目的に、ここに中小企業等協同組合法に基づく協同組合を設立するものである。

令和●年●●月●●日

出典：中小介護事業者協同組合
(<http://skilljapan.com/contents015.html>)

